

かみね公園の夜桜



【©Zekkei×IBARAKI2017】
(表紙写真提供：茨城県営業戦略部観光物産課)

まち中が優しい春の色に染まり始める4月。日立市の鞍掛山くらかけやまの山裾に広がる「かみね公園」では、約25種類、約1,000本の桜が咲き誇ります。

日立市は、その昔、日立鉱山の発展による煙害で荒廃した山の環境を回復させるため、煙に強い大島桜などを植林し、その後も市民の手によって守られてきたという歴史があります。

そうした努力の結果、現在、かみね公園は、平和通りとともに「日本のさくら名所100選」に選ばれています。また、例年、4月上旬から中旬には、園内に行灯などが飾られ、温かみのある光に照らされた幻想的な夜桜を楽しむこともできます。

かみね公園は約15万㎡もの広さを誇り、園内には北関東有数の動物園として知られる「かみね動物園」、メリーゴーランドなど幼児向けの乗り物が揃った「かみね遊園地」、スリル満点のジェットコースターや大観覧車などが楽しめる「レジャーランド」、昭和の歌謡界を代表する作曲家・吉田正の輝かしい半生を展示した「吉田正音楽記念館」など、子どもから大人まで楽しめる様々なレジャー施設が整備されています。

また、頂上の展望台からは、日立の市街地、そしてその先に広がる太平洋の大海原を一望できることから、日の出のビューポイントのほか、令和元年9月には、「日本夜景遺産」にも認定され、夜景ポイントとしても注目されています。

日立市内が桜に包まれるこの季節、ご家族・ご友人とともに、かみね公園で美しい春の訪れを感じてみてはいかがでしょうか。



◆場所：茨城県日立市宮田町5-2-22

◆アクセス：

【車】常磐自動車道「日立中央IC」から約5分

【電車】JR常磐線「日立駅」からバスで約10分
「神峰公園口」下車